

## 2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士昼夜間部		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	言語発達学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期	教室名	401
担 当 教 員	竹岩直子	実務経験と その関連資格	言語聴覚士。国立病院機構南京都病院に5年勤務。呼吸器、神経難病、重症心身障害児者の嚥下・高次脳機能のリハビリに従事。大阪大学歯学部附属病院にて口蓋裂をはじめとする器質性構音障害および機能性構音障害へのリハビリに従事。			
《授業科目における学習内容》						
前言語期から学童期までの言語発達について理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末試験にて100%評価をおこなう。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
講義では配布資料を使用する。 参考図書:医学書院『標準言語聴覚障害学 言語発達障害学 第4版』 医歯薬出版『言語聴覚士テキスト第4版』						
《授業外における学習方法》						
各回の授業内容の事前学習、復習。						
《履修に当たっての留意点》						
前言語期からの言語発達過程および影響する要因(阻害・促進)を理解し、適切な言語機能評価や指導の実践につなげていきますよう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	発達の概論について理解する	教科書 配布資料	参考図書の該当頁通読	
		各コマにおける授業予定	発達における臨界期や発達期の区分について学ぶ 『言語聴覚士テキスト第4版』 p59-63			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動(粗大運動・微細運動)の発達について理解する	教科書 配布資料	参考図書の該当頁通読	
		各コマにおける授業予定	運動(粗大運動・微細運動)の発達過程を学ぶ 『言語聴覚士テキスト第4版』 p59-63			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知能力(感覚・知覚・認知)の発達について理解する	教科書 配布資料	参考図書の該当頁通読	
		各コマにおける授業予定	認知能力(感覚・知覚・認知)の発達過程を学ぶ 『言語聴覚士テキスト第4版』 p169-172			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会性・情動の発達について理解する	教科書 配布資料	参考図書の該当頁通読	
		各コマにおける授業予定	社会性・情動の発達過程を学ぶ 『言語聴覚士テキスト第4版』 p169-172			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	遊び・道徳性の発達について理解する	教科書 配布資料	参考図書の該当頁通読	
		各コマにおける授業予定	遊び・道徳性の発達過程を学ぶ 『言語聴覚士テキスト第4版』 p169-172			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 口腔機能(発声器官)の発達について理解する	教科書 配布資料	参考図書の該当頁通読
	各コマにおける授業予定	口腔機能(発声器官)の運動や発達について学ぶ 『言語聴覚士テキスト第4版』 p229		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 子どもの全体発達について理解する	教科書 配布資料	第1～6回の内容の復習
	各コマにおける授業予定	発達の各領域が相互に関連しながら発達が進むことを学ぶ		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 言語獲得理論(学習説、生得説)について説明できる	教科書 配布資料	参考図書の該当頁通読
	各コマにおける授業予定	言語獲得理論(学習説、生得説)について学ぶ 『言語聴覚士テキスト第4版』 p228-230		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 言語獲得理論(認知説、社会相互交渉説)について説明できる	教科書 配布資料	参考図書の該当頁通読
	各コマにおける授業予定	言語獲得理論(認知説、社会相互交渉説)について学ぶ 『言語聴覚士テキスト第4版』 p228-230		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 前言語期の言語発達(コミュニケーション行動の発達)について説明できる	教科書 配布資料	参考図書の該当頁通読
	各コマにおける授業予定	前言語期の言語発達(コミュニケーション行動の発達)について学ぶ 『標準言語聴覚障害学 言語発達障害学 第3版』 p4-7		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 前言語期の言語発達(発声行動・言語音知覚の発達)について説明できる	教科書 配布資料	参考図書の該当頁通読
	各コマにおける授業予定	前言語期の言語発達(発声行動・言語音知覚の発達)について学ぶ 『標準言語聴覚障害学 言語発達障害学 第3版』 p4-8		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 1～2歳(語彙獲得期)の言語発達について説明できる①	教科書 配布資料	参考図書の該当頁通読
	各コマにおける授業予定	初語の出現・語彙の増加、言語発達を促す大人の関わりについて学ぶ 『標準言語聴覚障害学 言語発達障害学 第3版』 p8-15		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 1～2歳(語彙獲得期)の言語発達について説明できる②	教科書 配布資料	参考図書の該当頁通読
	各コマにおける授業予定	構文の発達、象徴機能の発達について学ぶ 『標準言語聴覚障害学 言語発達障害学 第3版』 p8-15		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 幼児期の言語発達について説明できる	教科書 配布資料	参考図書の該当頁通読
	各コマにおける授業予定	幼児期の言語発達について学ぶ 『標準言語聴覚障害学 言語発達障害学 第3版』 p15-20		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 学童期の言語発達について説明できる	教科書 配布資料	参考図書の該当頁通読
	各コマにおける授業予定	学童期の言語発達について学ぶ 『標準言語聴覚障害学 言語発達障害学 第3版』 p21-32		